

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路台帳補正事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	01	03	51
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が新たに認定又は廃止及び拡幅改良した市道	意図	開発行為及び区画整理事業等により、新規認定又は廃止される道路の属性等を台帳として整備し、市道を適正に管理する。
事業内容	・新たに市道として認定又は廃止された道路及び、拡幅改良事業により整備された道路の告示が完了した市道のほか、官民境界査定により確定した市道について、その属性（延長・幅員等）が記録される道路台帳を補正して管理する。（道路法第28条に基づく）			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和61年度における市道の一括認定廃止に伴う市道の見直し時より実施。ただし、電算化の導入にあたり、昭和60年度より準備作業に着手した。運用開始時には現場と調書のデータが一致しない等の混乱もあったが、現在は事業化による単年度毎での補正処理により、各種道路照会及び国、県からの調査（道路現況調査、公共施設現況調査）への対応が迅速になった。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		市道認定・廃止・拡幅改良延長	7.59	7.63	9.15	km	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・道路境界の確定により作図された図面は、随時受託者へデータを送致しているが、補正作業までの間は職員が台帳に表示している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		23,736,500	21,989,000	25,025,000			
事業費(b)(円)		12,810,000	11,178,000	13,284,000			
うち一般財源		12,810,000	11,178,000	13,284,000			
職員給与費(c)(円)		10,926,500	10,811,000	11,741,000			
人役・職員(人)		1.50	1.50	1.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・補正用データを蓄積させず、随時、受託者へ提供する。
今年度(H27)に実施した取組	・開発行為における、引継路線の認定可否について現地調査を実施した。

取組の課題	・認定・廃止の告示は議決後に生じるため、補正数量の確定が年度末になり、十分な履行期間の確保が困難である。
今後の改善計画	・全庁型GISへの搭載を検討する事でコストと事務量の削減を図る。